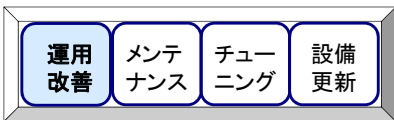


給排気ファンの間欠運転



- 地下駐車場の給排気ファンを稼働状況※(出入庫台数)に合わせて間欠運転することで節電になります。
(※出入庫台数≠駐(停)車台数 ⇒ 排ガス量に合わせる)

試算例

9時～20時の間、給排気ファンを間欠運転すると...

■ 節電効果 : **節電効果 211万円/年** 【高圧電力S単価を適用】
節電電力 約 40.0kW
節電電力量 約 109,900kWh

■ 対策内容 : 平日1時間のうち20分運転, 40分停止

■ 計算式 : 節電電力 (kW) = 定格消費電力 × 削減率
 節電電力量 (kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

定格消費電力: 60kW (ファン風量: 40,000m³ × 4台 [給気 × 2, 排気 × 2])
 ⇒ 駐車場高さ: 4m, 換気回数: 10回と仮定
 削減率: 66.7% (仮定: 20分運転/40分停止)
 対象時間: 11時間/日 (9:00～20:00)
 対象日数: 250日/年
 稼働率: 100% (仮定: 連続運転)

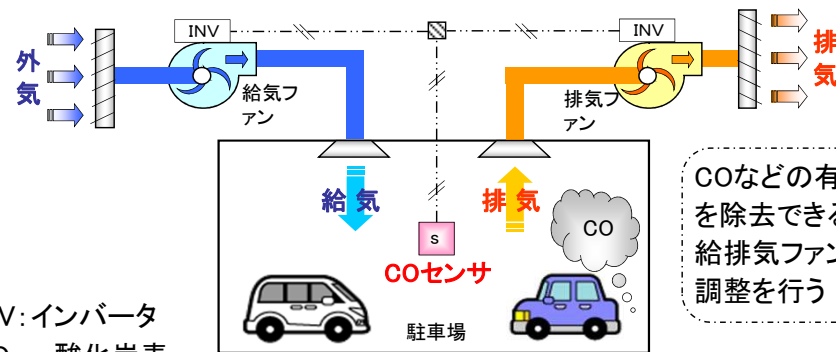
ポイント

- 換気回数は、駐車台数ではなく入れ替え台数により定まるので、状況に応じた間欠スケジュール設定をお願いします。
- 稼働状況の把握が難しい場合は、COセンサを設置した自動制御運転をおすすめします。

参考



地下駐車場換気設備(例)



COなどの有害物質を除去できるように、給排気ファンの風量調整を行う

※INV: インバータ
CO: 一酸化炭素

【参考】CO濃度管理によるファンインバータ制御イメージ (自動制御運転)

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます